

TM-T20II Utility

ユーザーズマニュアル

概要

TM-T20II Utilityの特長や動作環境、インストールおよびアンインストールについて説明します。

使い方

TM-T20II Utilityの使い方について説明します。

クーポン印刷

クーポン機能の使い方について説明します。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

EPSON、EXCEED YOUR VISION および ESC/POS はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Microsoft[®]、Windows[®]、Windows Vista[®]、Windows Server[®] は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Bluetooth[®] のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、セイコーエプソン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

ESC/POS[®] コマンドシステム

EPSON は、独自の POS プリンターコマンドシステム、ESC/POS により、業界のイニシアチブをとってきました。ESC/POS は特許取得済みのものを含む数多くの独自のコマンドを持ち、高い拡張性で多才な POS システムの構築を実現します。ほとんどの EPSON POS プリンターとディスプレイに互換性を持つほか、この独自の制御システムにはフレキシビリティもあるため、将来アップグレードが行いやすくなります。その機能と利便性は世界中で評価されています。

© Seiko Epson Corporation 2013-2015. All rights reserved.

安全のために

記号の意味

本書では以下の記号が使われています。それぞれの記号の意味をよく理解してから製品を取り扱ってください。

注意

ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。

参考

補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本書について

本書の目的

本書は、TM-T20II Utility の使用に必要な情報を提供することを目的としています。

本書の構成

本書は次のように構成されています。

第1章 [概要](#)

第2章 [使い方](#)

第3章 [クーポン印刷](#)

目次

■ 安全のために.....	3
記号の意味.....	3
■ 使用制限.....	3
■ 本書について.....	3
本書の目的.....	3
本書の構成.....	3
■ 目次.....	4

概要..... 7

■ 概要.....	7
■ サポート OS.....	8
■ インストール.....	9
■ アンインストール.....	9
■ OS による違い.....	10

使い方..... 11

■ TM-T20II Utility の起動.....	11
TM-T20II Utility を起動する.....	11
通信ポートを追加して TM-T20II Utility を起動する.....	13
■ 現在の設定.....	16
■ 動作テスト.....	19
■ 電子ジャーナル.....	20
電子ジャーナルデータの保管場所.....	20
電子ジャーナルの設定.....	20
電子ジャーナルの確認.....	21
■ ロゴの登録.....	24
ロゴの登録.....	27
■ 用紙節約の設定.....	31
■ 自動用紙カットの設定.....	33
■ 印刷制御の設定.....	35
■ フォントの設定.....	36
■ オプションプザーの設定.....	37
■ 通信 I/F の設定.....	39
■ 設定の保存と復元.....	45
プリンターの設定をファイルに保存する.....	45
設定をプリンターに復元する.....	47

クーポン印刷	49
■ 概要	49
印刷の仕組み	49
クーポン印刷の方法	50
オートカット時のロゴ印刷	52
クーポンデータ形式	52
環境	53
セットアップ	53
■ 設定	54
クーポンの登録	55
クーポンの印刷方法の設定	59
クーポン印刷の設定	61
印刷順番の指定	62
印刷頻度の指定	63
■ Coupon Generator でクーポンを登録	64
■ クーポンの印刷	65
ポップアップ選択で印刷する場合	65
印刷結果の確認	67
■ FAQ	68
■ Acknowledgements	70



概要

本章では、TM-T20II Utility の概要、動作 OS、インストールとアンインストール方法について説明しています。

概要

「TM-T20II Utility」は、TM-T20II のパラメーターを確認し、設定する、TM-T20II 専用のユーティリティです。以下の機能があります。

メニュー	機能	ページ
動作テスト	<ul style="list-style-type: none"> • テスト印刷 	➡ 19 ページ
電子ジャーナル *1 *2	<ul style="list-style-type: none"> • 電子ジャーナルの設定 	➡ 20 ページ
ロゴの登録	<ul style="list-style-type: none"> • ロゴの登録 	➡ 24 ページ
クーポンの設定 *1 *2 *3	<ul style="list-style-type: none"> • クーポンの登録 • クーポン印刷の設定 	➡ 49 ページ
用紙節約の設定 *3	<ul style="list-style-type: none"> • 上下余白の削減 • 行間 / 改行の削減率 • バーコード高さの削減率 	➡ 31 ページ
自動用紙カット *3	<ul style="list-style-type: none"> • カバークローズ時に用紙を自動カットする • 用紙カット時にロゴを印刷する 	➡ 33 ページ
印刷制御の設定	<ul style="list-style-type: none"> • 用紙幅 - 桁数 • ロゴ登録 180dpi サイズ互換モード • 印字濃度 • 印字速度 • 電源容量 	➡ 35 ページ
フォントの設定	<ul style="list-style-type: none"> • デバイスフォントのコードページ • 国際文字セット 	➡ 36 ページ
オプションブザー	<ul style="list-style-type: none"> • 外付けオプションブザー設定 	➡ 37 ページ
通信 I/F の設定	<ul style="list-style-type: none"> • Bluetooth® 設定 (パスキー、デバイス名) • シリアル設定 • USB クラス • イーサネット設定 	➡ 39 ページ
設定の保存と復元	<ul style="list-style-type: none"> • ロゴ登録ファイルとプリンターの設定をファイルに保存する • 保存したファイルから設定をプリンターに復元する 	➡ 45 ページ

*1: Windows 2000 では使用できません。

*2: プリンタードライバーがインストールされていない場合は、利用できません。
(ドライバーの種類とバージョンについては、➡ 53 ページ「環境」を参照してください。)

*3: プリンターのバージョンにより使用できないため、表示されない場合があります。

サポート OS

- Windows 10 (32 bit / 64 bit)
- Windows 8.1 (32 bit / 64 bit)
- Windows 8 (32 bit/64 bit)
- Windows 7 SP1 (32 bit/64 bit)
- Windows Vista SP2 (32 bit/64 bit)
- Windows XP SP3 (32 bit)
- Windows 2000 SP4 *
- Windows Server 2012 (64 bit)
- Windows Server 2008 R2 SP1
- Windows Server 2008 SP2 (32 bit/64 bit)
- Windows Embedded for Point of Service
- Windows Embedded POSReady 2009

* Windows 2000 では、TM-T20II Utility は USB プリンタークラスの TM-T20II をサポートしていません。TM-T20II をベンダークラスにしてご利用ください。

インストール

TM-T20IIUtility***.exe を実行してください。

注意

Administrator 権限でインストールしてください。

お客様が画像編集アプリケーションで作成したクーポンを、EPSON Coupon Generator で登録する場合は、“セットアップタイプ”画面で、“EPSON Coupon Generator”をチェックして、インストールしてください。Coupon Generator をインストールすると、[デバイスとプリンター]に EPSON Coupon Generator (TM-T20II) が追加されます。

アンインストール

以下の手順でアンインストールしてください。

- 1 コンピューターで実行している、他のすべての作業を終了します。
- 2 [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムのアンインストール] を選択します。
➡ 10 ページ「OS による違い」を参照してください。
- 3 “プログラムのアンインストールまたは変更”画面が表示されます。[EPSON TM-T20II Utility Ver.x.x] をダブルクリックします。
- 4 アンインストールの確認の画面が表示されます。[はい] をクリックします。アンインストールされます。
- 5 “アンインストール完了”画面が表示されます。[完了] をクリックします。

OSによる違い

本書では OS によって記載内容が異なる場合があります。以下を参照してください。

項目	説明
画面の説明	本書では Windows 7 の画面で説明をしています。 他の OS をご使用の場合は、読み換えてお使いください。
TM-T20II Utility の起動	Windows 10 [スタート]-[すべてのアプリ]-[EPSON TM-T20II Utility]-[TM-T20II Utility] Windows 8/Windows 8.1 [スタート]-[すべてのアプリ]-[TM-T20II Utility] Windows 7 [スタート]-[すべてのプログラム]-[EPSON]-[TM-T20II Software]-[TM-T20II Utility] Windows Vista [スタート]-[すべてのプログラム]-[EPSON]-[TM-T20II Software]-[TM-T20II Utility] Windows XP [スタート]-[すべてのプログラム]-[EPSON]-[TM-T20II Software]-[TM-T20II Utility] Windows 2000 [スタート]-[すべてのプログラム]-[EPSON]-[TM-T20II Software]-[TM-T20II Utility]
アンインストール	Windows 10 [スタート]-[設定]-[システム]-[アプリと機能] Windows 8/Windows 8.1 [デスクトップ]-サイドバー[設定]-[コントロールパネル]-[プログラムのアンインストール] Windows 7 [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムのアンインストール] Windows Vista [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムのアンインストール] Windows XP [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除] Windows 2000 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除]

使い方

本章では、TM-T20II Utility の使い方について説明しています。

注意

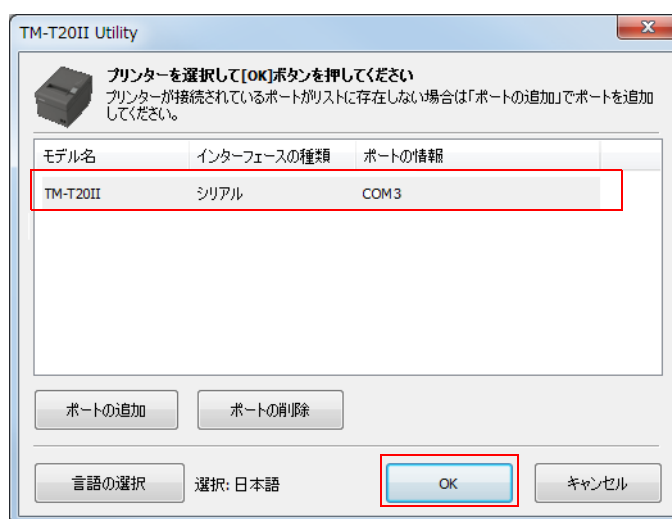
設定の保存中は、プリンターの電源を切ったり、接続を切断したりしないでください。

TM-T20II Utility の起動

TM-T20II Utility を起動する

以下の手順で、TM-T20II Utility を起動します。

- 1 [スタート] - [すべてのプログラム] - [EPSON] - [TM-T20II Software] - [TM-T20II Utility] を選択します。
- 2 以下の画面が表示されます。TM-T20II Utility を使用したいプリンターを選択し、[OK] をクリックします。
プリンターが表示されない場合は、[ポートの追加] をクリックします。▶ 13 ページ「通信ポートを追加して TM-T20II Utility を起動する」を参照してください。



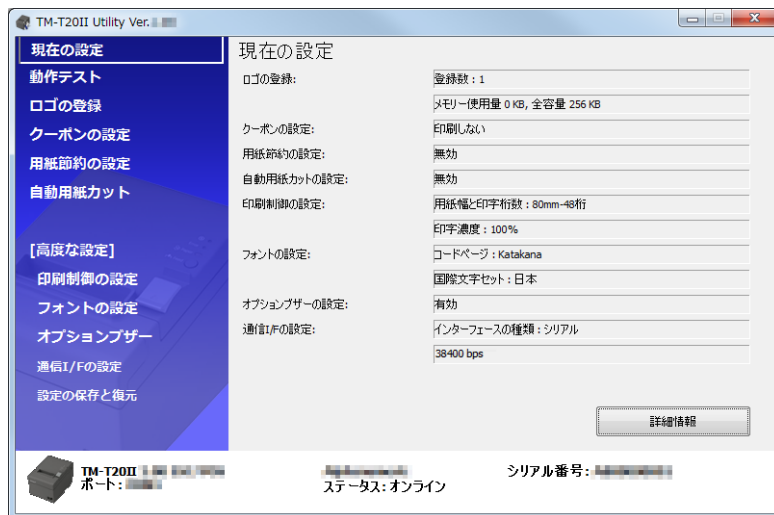
参考

- 表示する言語を変更したい場合、[言語の選択] をクリックします。
- ポートを選択し、[ポートの削除] をクリックすると、選択した通信ポートが削除されます。

3 TM-T20II Utility が起動します。“現在の設定”画面に取得した値が表示されます。USB 接続の場合、接続したプリンターを識別するには、TM-T20II Utility を起動後にテスト印刷するか、プリンター側面のシリアル番号と TM-T20II Utility に表示されたプリンターのシリアル番号を確認してください。

初めて TM-T20II Utility を実行した時は、プリンターと通信できないと起動しません。

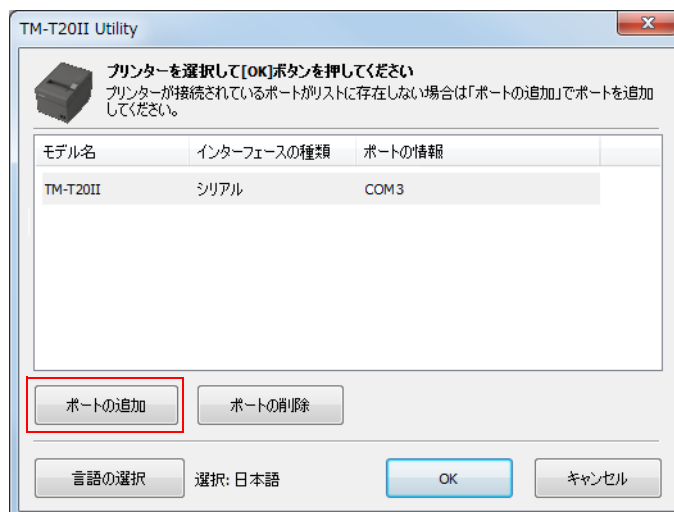
ただし、一度通信を確立した場合は、プリンターがオフラインの場合でも前回のプリンターの設定情報を元に起動します。



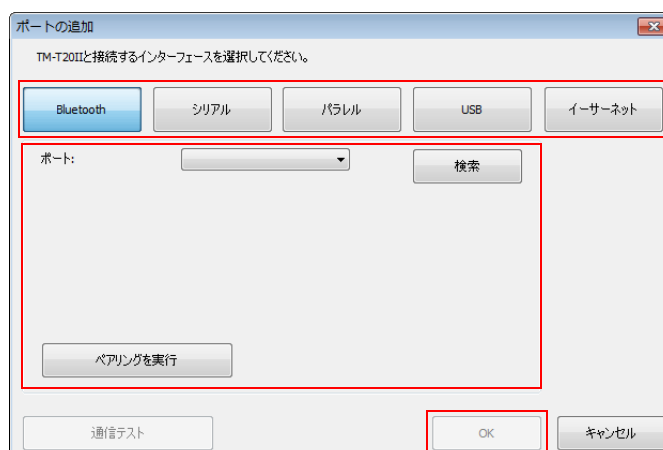
通信ポートを追加して TM-T20II Utility を起動する

以下の手順で、通信ポートを追加します。

- 1 [スタート] - [すべてのプログラム] - [EPSON] - [TM-T20II Software] - [TM-T20II Utility] を選択します。
- 2 以下の画面が表示されます。[ポートの追加] をクリックします。

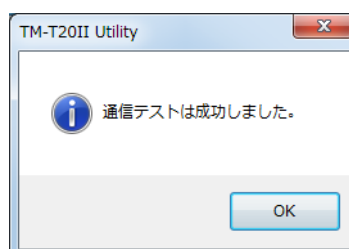


- 3 “ポートの追加”画面が表示されます。追加するポートの設定をします。設定後、[OK] をクリックします。



参考

- ポートが通信できない場合、エラーメッセージが表示されます。その場合、ポートは追加できません。プリンターの接続や、通信設定を確認してください。
- [通信テスト] はテスト印刷ではなく、通信結果を画面に表示します。



□ Bluetooth®

項目	説明
ポート	使用するコンピューターの仮想シリアルポートを選択します。
検索	通信可能な仮想シリアルポートを検索します。
ペアリングを実行	EPSON TM Bluetooth® Connector を起動します。 EPSON TM Bluetooth® Connector からプリンターのペアリングをしてください。
通信テスト	通信テストをします。

□ シリアル

項目	説明
ポート	使用するコンピューターのシリアルポートを選択します。
検索	通信可能なシリアルポートを検索します。
通信速度	通信速度を設定します。
パリティ	パリティを設定します。
データビット	ビット長を設定します。
ストップビット	ストップビットを設定します。
仮想ポート設定	EPSON TM Virtual Port Driver Assignment Tool を起動します。 詳細はEPSON TM Virtual Port Driver Ver.Xユーザーズマニュアルを参照してください。
通信テスト	通信テストをします。

□ パラレル

項目	説明
ポート	使用するコンピューターのパラレルポートを選択します。
検索	通信可能なパラレルポートを検索します。
仮想ポート設定	EPSON TM Virtual Port Driver Assignment Tool を起動します。 詳細は EPSON TM Virtual Port Driver Ver.X ユーザーズマニュアルを参照してください。
通信テスト	通信テストをします。

□ USB

項目	説明
ポート	使用する USB ポートを選択します。
検索	通信可能な USB ポートを検索します。
通信テスト	通信テストをします。

参考

USB 接続の場合、プリンタークラスとベンダークラスのプリンターが混在する環境では、プリンターを追加できないことがあります。この場合は、すでにコンピューターに接続されているプリンターの電源を切ってから、TM-T20II Utility を起動してください。

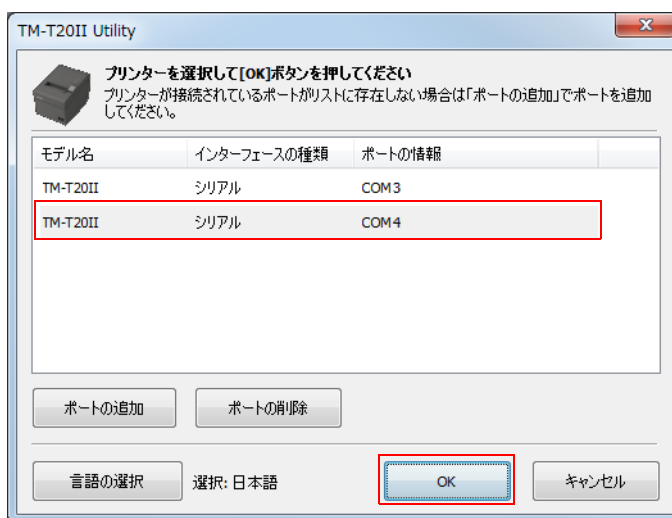
□ イーサネット

項目	説明
IP アドレス	使用するプリンターの IP アドレスを入力します。
検索	ネットワーク上にある、TM-T20II を検索し、IP アドレスを一覧表示します。
詳細設定 (EpsonNet Config)	EpsonNet Config を起動します。 EpsonNet Config からプリンターのネットワーク設定をしてください。
通信テスト	通信テストをします。

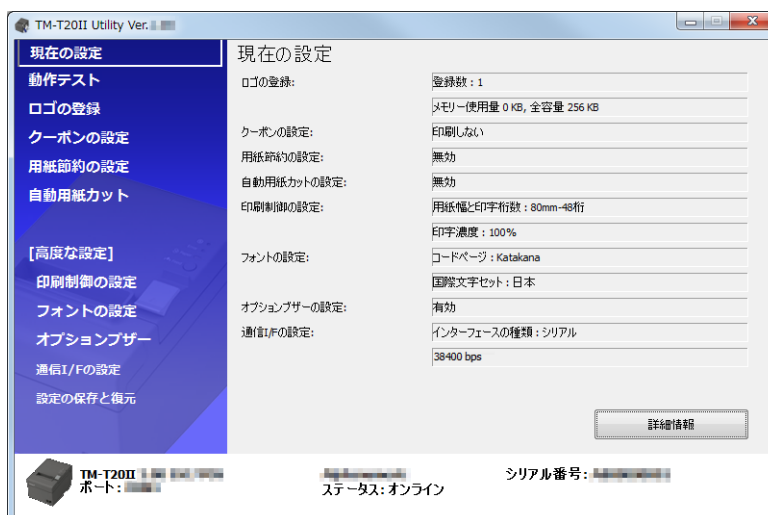
参考

[検索] をクリックしても、IP アドレスを設定済みの TM-T20II が表示されない場合、TM-T20II の IP アドレスを [IP アドレス] に直接入力してください。

4 以下の画面に戻ります。追加したポートを選択し、[OK] をクリックします。



5 TM-T20II Utility が起動します。

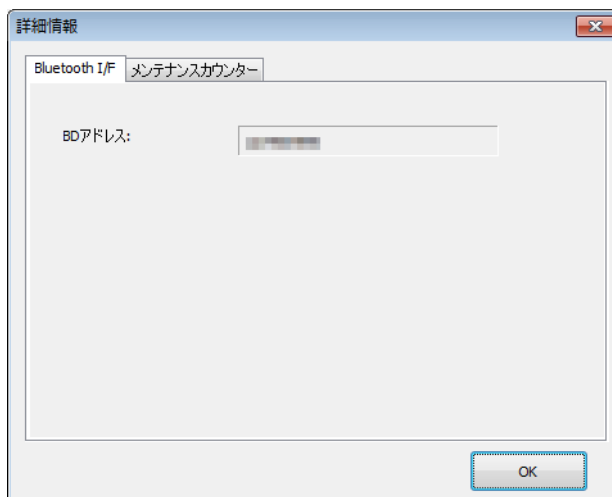


詳細情報

インターフェイスの情報

参考

シリアル / パラレル接続の場合、インターフェイスの情報は表示されません。



インターフェイスごとに、以下の詳細情報が表示されます。

□ Bluetooth® I/F

項目	説明
BD アドレス	BD アドレスが表示されます。

□ USB I/F

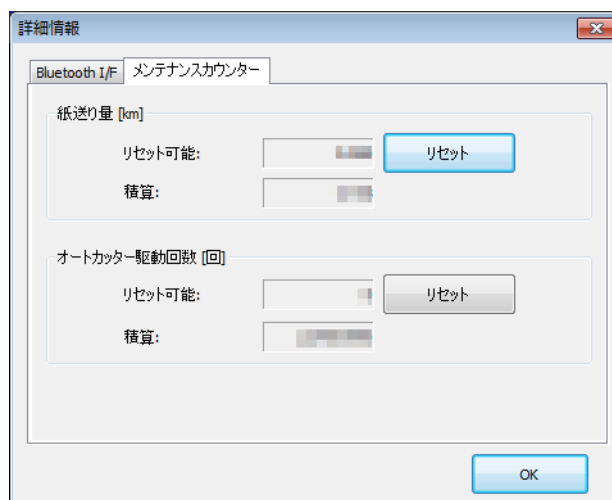
項目	説明
USB デバイス	製品名が表示されます。
USB デバイスのバージョン	製品のバージョン情報が表示されます。
USB の ID	シリアルナンバーが表示されます。
USB の情報	インターフェイスに設定されている識別文字列が表示されます。

□ イーサネット I/F

項目	説明
イーサネット I/F	インターフェイスボードの型番が表示されます。
MAC アドレス	インターフェイスに設定されている MAC アドレスが表示されます。
ハードウェアバージョン	インターフェイスのハードウェアのバージョンが表示されます。
ソフトウェアバージョン	インターフェイスのソフトウェアのバージョンが表示されます。

メンテナンスカウンター

メンテナンスカウンターの値の表示と、リセット可能な値をリセットできます。



項目		説明
紙送り量 [km]	リセット可能	プリンターの紙送り量を表示します。 [リセット]を押すと、値が0.000に戻ります。
	積算	プリンターの紙送り量(積算値)を表示します。
オートカッター駆動回数[回]	リセット可能	プリンターのオートカッター駆動回数を表示します。 [リセット]を押すと、値が0に戻ります。
	積算	プリンターのオートカッター駆動回数(積算値)を表示します。

動作テスト

プリンターが正常に動作するか、プリンターとドライバーが正常に通信されているか確認します。
以下の手順で確認します。

- 1 [動作テスト] をクリックします。
- 2 動作確認したい項目をクリックします。

動作確認する項目は以下のとおりです。

□ 単体テスト

項目	説明
通信テスト	コンピューターとプリンターの通信が正常化確認します。
テスト印刷	テスト印刷します。正常に印刷されるか確認します。
ロゴ印刷	プリンターに登録されているすべてのロゴを印刷します。
フォント印刷	プリンターに搭載されているフォントを印刷します。
ドロアーを開く	プリンターに接続されている、ドロアーを開けます。
ブザーテスト	プリンターに接続されているブザーを鳴らします。

□ ドライバーテスト

項目	説明
テストするドライバーの選択	動作確認するプリンタードライバーを選択します。
テスト印刷	テスト印刷します。正常に印刷されるか確認します。

□ 電子ジャーナル

項目	説明
電子ジャーナルを有効にする	電子ジャーナルの有効 / 無効を設定します。
表示	“電子ジャーナル”画面を表示します。

電子ジャーナル

電子ジャーナルは、印刷したデータをバイナリーファイルでコンピューターに保管する機能です。印刷の都度、ファイルが生成されます。本 Utility では、日付を指定して印刷結果を表示できます。

プリンタードライバーがインストールされていない場合は、利用できません。ドライバーの種類とバージョンについては、[▶ 53 ページ「環境」](#)を参照してください。

電子ジャーナルデータの保管場所

電子ジャーナルデータの保管場所は、以下のとおりです。

項目		説明
フォルダー	Windows XP	C:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥EPSON ¥TMCommandEmulator¥EJ¥[機種名]¥[yyyymmdd(年月日)]
	Windows Vista 以降	C:¥ProgramData¥EPSON¥TMCommandEmulator¥EJ¥[機種名] ¥[yyyymmdd(年月日)]
ファイル名		[ポート名]時分秒ミリ秒.bin (例: [LPT2]104045847.bin ポート名は、コンピューターのポートを確認してください。USB のポート名は、USB のシリアル番号 (USBID) となります。)

参考

電子ジャーナルデータは、コンピューターに蓄積されます。そのため数ヶ月に一度、データを削除してください。必要に応じてバックアップしてください。

電子ジャーナルの設定

以下の手順で電子ジャーナルを設定します。

- 1 [動作テスト] をクリックします。
- 2 [電子ジャーナルを有効にする] をチェックします。

動作テスト

単体テスト

通信テスト テスト印刷

ロゴ印刷 フォント印刷

ドローアを開く ブザーテスト

ドライバーテスト

テストするドライバーの選択: []

テスト印刷

電子ジャーナル

電子ジャーナルを有効にする 表示

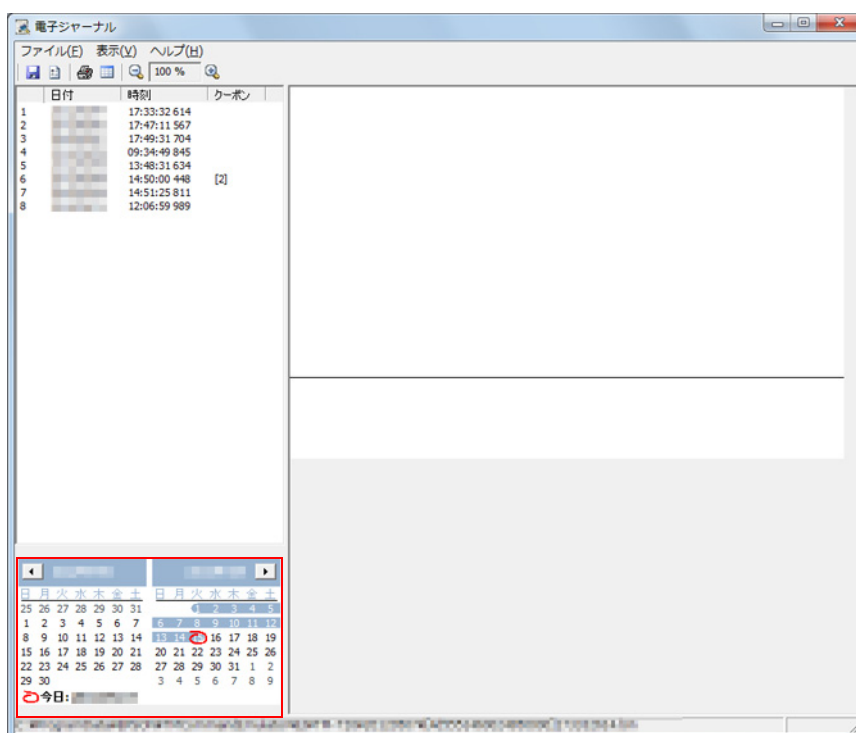
電子ジャーナルの確認

以下の手順で電子ジャーナルを確認します。

参考

[電子ジャーナルを有効にする]にチェックが入っていないと、電子ジャーナルを表示できません。

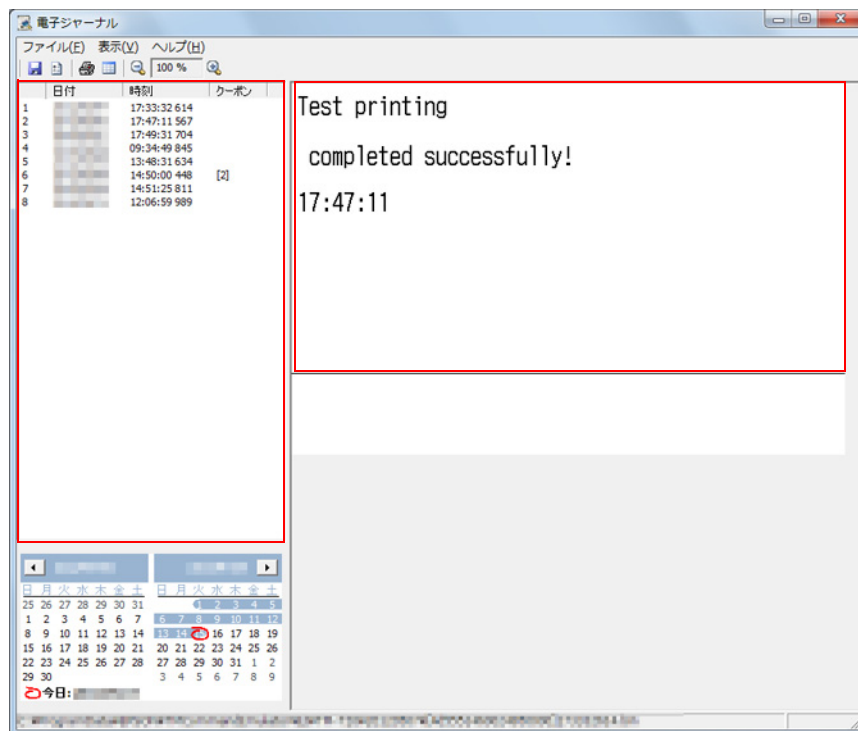
- 1 [動作テスト]をクリックします。
- 2 [表示]をクリックします。
“電子ジャーナル”画面が表示されます。
- 3 確認したい期間(日付)をカレンダーから選択します。



参考

週単位の表示など、月をまたいで選択する場合、表示枠をドラッグして広げると、2か月のカレンダーが表示されて選択できるようになります。

- 4 表示したいデータを、リストから選択します。
 印字結果が表示されます。



電子ジャーナルのメニューバーは、以下の構成になっています。

項目		説明
ファイル	テキストファイルに出力	選択した印刷データを、テキストファイルに出力します。 (グラフィックで印刷された場合は、テキスト出力されません。)
	ビットマップファイルに出力	選択した印刷データを、ビットマップファイルに出力します。
	印刷	選択した印刷データを、プリンターで印刷します。
	終了	電子ジャーナルを終了します。
表示	表示を更新	表示を更新します。
	Language	言語を切り替えます。
	オプション設定	プリンターの設定値を読み込み、画面に表示するイメージを実際に印刷したイメージに合わせます。
	レポート表示	日ごとのレシートの発行部数、クーポンの発行枚数を集計できます。▶ 23 ページ「レポート表示」を参照してください。
ヘルプ	バージョン情報	電子ジャーナルのバージョンを表示します。

レポート表示

確認したい期間を選択し、[表示]-[レポート表示]を選択すると、以下の画面が表示されます。

1日ごとの印刷状況や、クーポン発行状況を知ることができます。

[CSVファイルに出力]をクリックすると、レポートの内容をCSVファイルで保存できます。

日付	レシート合計	クーポン合計	[1]	[2]	[3]
2023/01/01	4	1	0	1	0
合計	4	1	0	1	0

No.	Coupon file name
[1]	CPN_coupon_BW.rst
[2]	CPN_delicious_BW.rst
[1]	CPN_coupon_Lucky.rst

ロゴの登録

プリンターに登録するロゴデータの設定をします。

参考

プリンターに登録されているロゴは、以下のことはできません。

- ログデータの再編集
- プリンターへの再登録
- ファイル保存

ロゴの登録

開始キーコード指定モード

キーコード	画像ファイル	サイズ [バイト]
32, 32		(登録済)

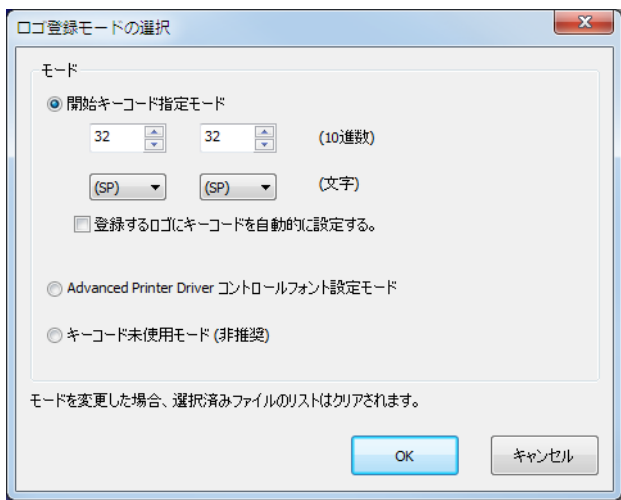
プレビュー

倍率: 標準 配置: 左揃え

追加ロゴサイズ 0 KB
使用量 0 KB/256 KB

ファイルに保存 プリンターに登録

[ロゴの登録]には、以下の機能があります。

項目	説明
キーコードリスト	プリンターに登録済みのロゴと、プリンターに追加するロゴを表示します。
キーコード	プリンターに登録済みのロゴ： ロゴデータのキーコードの左側に☑が表示されます。 追加するロゴ： 設定するキーコードのみされます。
画像ファイル	プリンターに登録済みのロゴ： (登録済)が表示されます。 追加するロゴ： 画像ファイル名が表示されます。
サイズ[バイト]	プリンターに登録済みのロゴ： 表示されません。 追加するロゴ： 画像ファイルのサイズが表示されます。
追加	画像ファイルを追加します。
編集	画像ファイルのハーフトーンや明るさを編集します。
削除	ロゴを削除します。
テスト印刷	選択したロゴを印刷します。 ロゴに[倍率]、[配置]を設定すると、設定した結果の大きさと位置で印刷します。
モード変更	プリンターに登録するロゴの登録モードを変更します。[モード変更]をクリックすると、“ロゴ登録モードの選択”画面が表示されます。 
開始キーコード指定モード	ロゴ管理用の識別コードを指定します。
登録するロゴにキーコードを自動的に設定する。	チェックすると、登録するロゴにキーコードを自動的に設定します。チェックを外すと、ロゴを追加または編集する時にキーコードを設定します。
Advanced Printer Driver コントロールフォント設定モード	Windows プリンタードライバー(Advanced Printer Driver)の場合、キーコードの代わりに、control フォント(h~l)で管理します。
キーコード未使用モード(非推奨)	-

項目	説明
キーコードの管理	<p>プリンターに登録済みのキーコードを表示します。</p> 
削除	選択したキーコードのロゴを削除します。
すべて削除	プリンターに登録済みのすべてのロゴを削除します。
キーコード取得	プリンターの情報を再び取得します。
プレビュー	プリンターに登録する前の、ロゴのイメージが表示されます。登録済みのロゴのイメージは表示されません。
倍率	キーコードリストで選択したロゴの倍率を設定します。設定した結果は、[テスト印刷]またはプレビューで確認できます。実際に使用する場合には、ドライバーやESC/POS コマンドから倍率を指定してください。
配置	キーコードリストで選択したロゴの印刷位置を設定します。設定した結果は、[テスト印刷]またはプレビューで確認できます。実際に使用する場合には、ドライバーやESC/POS コマンドから配置を指定してください。
ロゴインジケータ	インジケータ：プリンターのロゴ登録可能メモリーサイズ 追加ロゴサイズ：リストに表示されているロゴのサイズ 使用量：登録済みロゴのサイズ
ファイルに保存	画像ファイルを、ロゴ登録ファイル (TLG ファイル) または、ビットマップファイルで保存します。
プリンターに登録	画像データを、プリンターに登録します。

ロゴの登録

複数のロゴを登録する場合、まとめて一度にプリンターに登録することをお勧めします。
以下の手順でロゴを登録します。

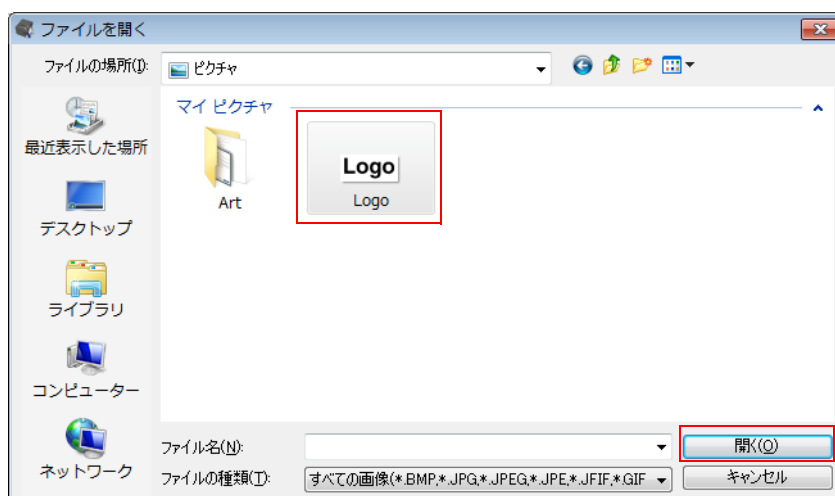
1 [追加] をクリックします。



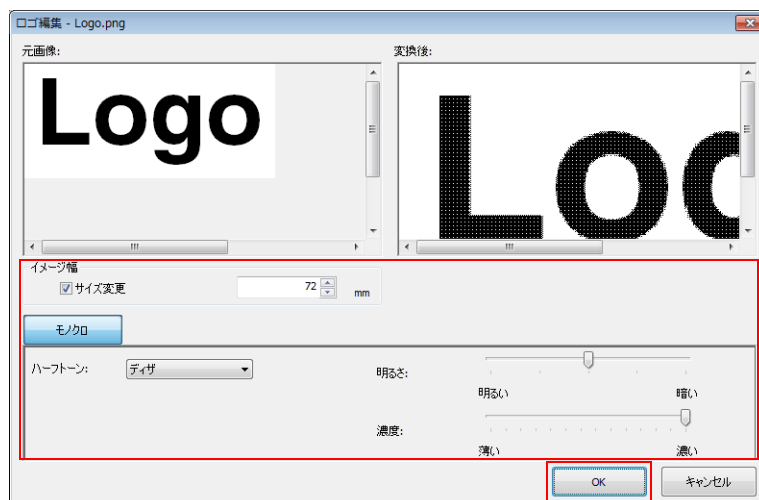
2 プリンターに登録する画像ファイルを選択し、[開く] をクリックします。

指定可能なファイルサイズは、幅 2047 × 高 831 ピクセル (ドット) 以下の bmp, jpeg, gif, png ファイルです。ロゴの幅が用紙幅を超える場合は警告メッセージを表示します。[OK] をクリックし、手順 3 の「ロゴ編集」画面で縮小してください。

用紙幅 - 桁数	ピクセル
80mm - 48 桁	576
80mm - 42 桁	546
58mm - 42 桁	378
58mm - 35 桁	420



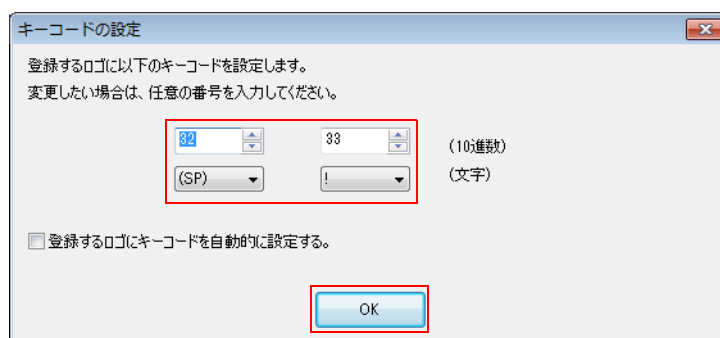
- 3 “ロゴ編集”画面が表示されます。画面上部のプレビューを参照して、イメージデータを編集します。編集が終了したら、[OK] をクリックします。



以下を設定します。

項目	説明
イメージ幅	リサイズ後の画像サイズを設定します。(設定値は mm です。)
サイズ変更	サイズの変更の有 / 無を設定します。 チェックしない場合、画像のサイズで印刷されます。画像が大きい場合、用紙幅を超える部分は印刷されません。
ハーフトーン	ハーフトーンの種類を、[デザ] / [誤差拡散] / [なし] から選択します。
明るさ	明るさを設定します。
濃度	印刷の濃度を設定します。

- 4 ロゴ登録モードが [開始キーコード指定モード] で、[登録するロゴにキーコードを自動的に設定する] にチェックされていない場合、“キーコードの設定”画面が表示されます。キーコードを設定し、[OK] をクリックします。
[開始キーコード指定モード] 以外のロゴ登録モードや、[登録するロゴにキーコードを自動的に設定する] がチェックされている場合、“キーコードの設定”画面は表示されません。



- 5 リストにロゴデータが追加されます。複数のロゴデータを登録する場合、手順 1 ～ 4 を繰り返します。
- 6 プリンターに登録するロゴデータをすべて追加後、画面右のインジケータでプリンターに登録可能なサイズが確認し、[プリンターに登録] をクリックします。



- 7 ロゴデータがプリンターに登録されます。また、ロゴデータはロゴ登録ファイル（TLG ファイル）にも保存されます。



ロゴ登録ファイルについて

ロゴ登録ファイル (TLG ファイル) は、ロゴをプリンターに登録した時に、上書き保存されます。このファイルには、最後にプリンターに登録したロゴのデータしか保存されません。そのため、複数のロゴデータをロゴ登録ファイルに保存したい場合、すべてのロゴデータを一度でプリンターに登録してください。

すでにプリンターに登録済みのデータを保存するには、以下の手順を実施してください。

- 1** プリンターに登録済みのロゴをすべて削除します。
➡ 24 ページ「[ロゴの登録](#)」を参照してください。
- 2** プリンターに登録するロゴデータをすべて用意します。
- 3** TM-T20II Utility にすべてのロゴを追加し、プリンターに一度で登録します。
この手順により、すべてのロゴデータを含むロゴ登録ファイル (TLG ファイル) が作成されます。
➡ 27 ページ「[ロゴの登録](#)」を参照してください。

用紙節約の設定

注意

ロゴ、クーポン等のイメージ印刷やページモード印刷の場合、用紙節約を設定しても用紙を節約できないことがあります。印刷方法ごとの節約できない条件は以下のとおりです。

- Windows プリンタードライバー： 回転印刷、バーコードの回転など。*
- UPOS： ページモード印刷、回転印刷、ビットマップ / バーコード / 文字を横にならべて印刷するなど。

* プリンタードライバーには、印刷データの上下の余白を用紙節約する機能がありますのでそちらをお使いください。詳細はプリンタードライバーのマニュアルを参考にしてください。

用紙節約の設定をします。以下の手順で設定します。

- 1 [用紙節約の設定] をクリックします。
- 2 画面の右側に表示されるプレビューを参照して、用紙節約の設定をします。

参考

Advanced Printer Driver がグラフィックモードの場合、[上余白の削減]と[下余白の削減]以外の設定は無効になります。

設定項目は以下のとおりです。

項目	機能
上余白の削減	上余白の節約の有無を選択します。[削減する]にすると、印刷開始から最初の印刷データまでの余白を削減します。
下余白の削減	下余白の削減の有無を選択します。[削減する]にすると、最終印字行からオートカットまでの余白を削減します。
行間の削減率	印刷行の、紙送り量の縮小率を選択します。最小の紙送り量は2ドットです。
改行の削減率	空白行の紙送り量の縮小率を選択します。上余白節約で削除された行は対象外です。改行のみで紙送りしてマニュアルカットする場合、この設定で紙送り量が少なくなり、最終印刷行がカット位置まで紙送りされないことがあります。

項目	機能
バーコード高さの削減率	バーコードエレメントの高さの縮小率を選択します。バーコードの高さが 30 ドット以下には縮小しません。 この設定により、バーコードサイズの規格を満たさなくなることがあります。

- 3 [設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

自動用紙カットの設定

注意

ここでロゴを設定すると、クーポンを印刷する場合にもロゴを印刷します。クーポンにロゴを印刷しない場合は、クーポン印刷のオートカット時のロゴ印刷を設定します。

▶ 52 ページ「オートカット時のロゴ印刷」を参照してください。

カバーを閉めたときの、オートカットやオートカット時のロゴ印刷の設定をします。

以下の手順で設定します。

- 1 [自動用紙カット] をクリックします。
- 2 設定する項目を選択します。

自動用紙カットの設定

この機能を使用しない
 カバークローズ時に用紙を自動カットする
 用紙カット時にロゴを印刷する

設定

項目	説明
この機能を使用しない	ここで設定できるオートカットの機能を無効にします。手順4に進んでください。
カバークローズ時に用紙を自動カットする	カバーを閉めたときに、オートカットします。手順4に進んでください。
用紙カット時にロゴを印刷する	オートカット時にロゴを印刷します。手順3に進んでください。

3 [用紙カット時にロゴを印刷する]を設定します。

自動用紙カットの設定

この機能を使用しない
 カバークローズ時に用紙を自動カットする
 用紙カット時にロゴを印刷する

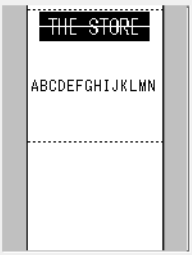
トップロゴ:	キーコード 32 32	配置 中央揃え
ボトムロゴ:	なし	左揃え

条件

コマンドによる用紙カット時
 カバークローズ時
 電源ON時

上余白の削減
 ロゴの途中(上から13mm)に白筋が入る場合があります。テスト印刷をして確認ください

設定



項目	説明
トップロゴ	用紙の最初に印刷するロゴを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> キーコード： 印刷するロゴのキーコードを選択します。 配置： ロゴの印刷位置を設定します。
ボトムロゴ	用紙の最後に印刷するロゴを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> キーコード： 印刷するロゴのキーコードを選択します。 配置： ロゴの印刷位置を設定します。
条件	ロゴ印字の動作条件を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> コマンドによる用紙カット時： 本項目のチェックは外せません。 カバークローズ時： カバークローズ時にトップロゴ印刷するか設定します。 電源ON時： この設定にすると、プリンターの設定を変更するたびに、プリンターがリセットされ、用紙をオートカットしてトップロゴが印刷されます。
上余白の削減	[トップロゴ]の設定で印刷されるロゴの、上余白を節約できます。[トップロゴ]設定した場合のみ設定可能です。[トップロゴ]の途中(上端から13mm)に白線が入る場合があります。そのため、お客様の使用環境で印字結果をご確認の上でお使いください。

4 [設定]をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

印刷制御の設定

プリンターに印刷制御の設定をします。以下の手順で設定します。

- 1 [印刷制御の設定] をクリックします。
- 2 印刷制御を設定します。

印刷制御の設定

用紙幅 - 桁数:

ロゴ登録180dpiサイズ互換モード:

印字濃度:

印字速度:

電源容量:

項目	説明
用紙幅 - 桁数	プリンターの用紙幅を選択します。
ロゴ登録 180dpi サイズ互換モード	ロゴ登録 180dpi サイズ互換モードの、有効 / 無効を選択します。 [ロゴ登録 180dpi サイズ互換モード] は、180dpi のプリンター用に作成したロゴを、TM-T20II でも同じ位置 / サイズで印字したい場合に使用する機能です。 ただし、[ロゴの登録] では、ロゴの追加 / 編集する際にサイズを自由に調整できます。従って、ロゴのサイズ調整は、[ロゴの登録] で設定することをお勧めします。 ▶ 24 ページ「ロゴの登録」を参照してください。
印字濃度	プリンターの印字濃度を選択します。
印字速度	プリンターの印刷速度を選択します。
電源容量	プリンターに接続している電源容量のレベルを選択します。

注意

印字中に電源が遮断されるなどのトラブルが発生した場合、[電源容量] のレベルを下げてください。それでもトラブルが解決しない場合、[印字速度] を遅くしてください。

参考

- プリンタードライバーと設定が重なる場合、以下はプリンタードライバーの設定が優先されません。
 - * 印字濃度
 - * 印字速度
- 用紙幅を変更する場合
 - * 用紙幅を80mmから58mmに変更した場合、プリンターにロール紙ガイドを取り付けてください。
 - * 用紙幅を58mmから80mmに変更した場合、正しく印刷されないことがあるので、印刷結果を確認してからご使用ください。

- 3 [設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

フォントの設定

デバイスフォントや国際文字セットの設定をします。

参考

- Advanced Printer Driver の場合、[コードページ]と[国際文字セット]の設定は無効です。
- OPOS ADK の場合、OPOS 側で設定したコードページが有効になります。

以下の手順で設定します。

1 [フォントの設定]をクリックします。

2 フォントの設定をします。

フォントの設定

OPOS ADKを利用する場合は、SetupPOSでフォントを設定する必要があります。

コードページ: Katakana

国際文字セット: 日本

設定 テスト印刷

項目	説明
コードページ	デバイスフォントのコードページを選択します。
国際文字セット	国際文字セットを選択します。

3 [設定]をクリックします。設定がプリンターに反映されます。
[テスト印刷]をクリックすると、設定されたデバイスフォントのフォントパターンが印刷されます。

オプションブザーの設定

外付けオプションブザーの設定をします。

以下の手順で設定します。

- 1 [オプションブザー] をクリックします。
- 2 外付けオプションブザー使用の有無を設定します。

外付けオプションブザー設定

ブザーを使用しない

ブザーを使用する

設定

項目	説明
ブザーを使用しない	外付けオプションブザーを使用しません。手順4へ進んでください。
ブザーを使用する	外付けオプションブザーを使用します。手順3へ進んでください。

3 外付けオプションブザーの設定をします。

外付けオプションブザー設定

ブザーを使用しない
 ブザーを使用する

エラー発生時: 鳴らし続ける ▼

オートカット駆動時: パターンA ▼ 再生

指定パルス1 (2 pin) 発生時: パターンA ▼ 再生

指定パルス2 (5 pin) 発生時: パターンB ▼ 再生

設定

項目	説明
エラー発生時	エラー発生時のブザーの設定をします。 [鳴らさない] / [一回] / [鳴らし続ける] から選択します。
オートカット駆動時	オートカット駆動時のブザーの設定をします。 [鳴らさない] / [パターン A ~ E] から選択します。
指定パルス (2pin) 発生時	指定パルス発生時のブザーの設定をします。 [鳴らさない] / [パターン A ~ E] から選択します。
指定パルス (5pin) 発生時	指定パルス発生時のブザーの設定をします。 [鳴らさない] / [パターン A ~ E] から選択します。
再生	ブザーテストをします。 ブザーパターンを指定して、[再生] をクリックします。

4 [設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

通信 I/F の設定

プリンターのインターフェイスの設定をします。このユーティリティーでは、コンピューター側のポート設定はしません。

そのため、プリンターの設定をすると、プリンターと通信できなくなることがあります。

その場合、プリンタードライバーなどコンピューター側の設定をプリンターの設定に合わせてください。

以下の手順で設定します。

参考

以下のインターフェイスは、通信 I/F の設定は不要です。

- パラレル

1 [通信 I/F の設定] をクリックします。プリンターのインターフェイスを自動識別して、“通信 I/F の設定” 画面が表示されます。

2 通信設定をします。

インターフェイス	説明	ページ
Bluetooth®	Bluetooth® 通信を設定します。	➡ 41 ページ
シリアル	シリアル通信を設定します。	➡ 41 ページ
USB	USB 通信を設定します。	➡ 42 ページ
イーサネット	IP アドレスを設定します。	➡ 44 ページ

3 [設定] をクリックします。設定がプリンターに反映されます。

Bluetooth®

Bluetooth® 通信を設定します。

通信I/Fの設定

Bluetooth

パスキー:

デバイス名:

項目	説明
パスキー	パスキーを設定します。[編集]をクリックすると、編集画面が表示されます。 初期値は、TM-T20II から取得したパスキーが表示されます。
デバイス名	パスキーを設定します。[編集]をクリックすると、編集画面が表示されます。 初期値は、TM-T20II から取得したデバイス名が表示されます。

シリアル

シリアル通信を設定します。

通信I/Fの設定

シリアル

通信速度: 38400 bps

パリティ: なし

データビット: 8 bits

ストップビット: 1 bit

フロー制御: DTR/DSR

設定

項目	説明
通信速度	通信速度を選択します。
パリティ	パリティを設定します。
データビット	データビットを設定します。
ストップビット	ストップビットを設定します。
フロー制御	フロー制御を設定します。

USB

USB クラスを設定します。

参考

- UPOS は、ベンダークラスでお使いください。
- プリンタークラスで使う必要のない場合は、ベンダークラスで使うことを推奨します。
- プリンタークラスに変更できるのは、本体標準 USB インターフェイス使用の場合のみです。

通信I/Fの設定

USB

USBクラス設定

プリンタークラス

ベンダークラス

設定

項目	説明
プリンタークラス	プリンターをプリンタークラスに設定します。
ベンダークラス (初期値)	プリンターをベンダークラスに設定します。

USB クラスをベンダークラスからプリンタークラスに設定すると、プリンターはプリンタークラスになります。また、コンピューターは新しいプリンタークラスのプリンターを検出して、新しいキューが生成されます。

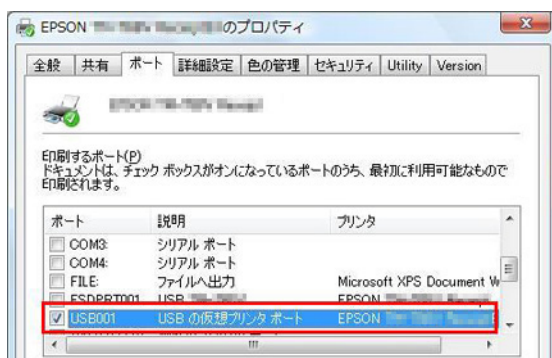
この場合、既存のキューからは印刷および Status API を使用できますが、新しいキューからは印刷できますが Status API を使用できません。新しいキューは削除しても構いません。

Status API を使用できるキューの見分け方

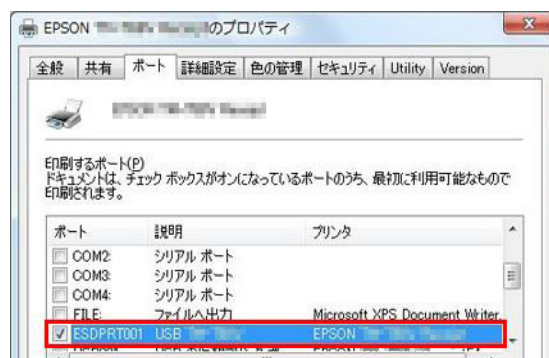
キューの[プロパティ]-[ポート]から、“ポート”と“説明”を確認してください。

- プリンタークラス
 - ポート： USBxxx
 - 説明： USB の仮想プリンターポート
- ヘンダークラス
 - ポート： ESDPRTxxx
 - 説明： USB TM-T20II

プリンタークラス



ヘンダークラス



イーサネット

EpsonNet Config を起動し、プリンターの IP アドレスを変更します。



項目	説明
詳細設定 (EpsonNet Config)	[詳細設定] をクリックすると、EpsonNet Config が起動します。 EpsonNet Config でイーサネットの設定をします。

設定の保存と復元

注意

- “自動復元の設定”は、WindowsプリンタードライバーまたはUPOSドライバーの特定のバージョン以降がインストールされていないと使用できません。ドライバーのバージョンについては、[▶ 53 ページ「環境」](#)を参照してください。
- クーポン設定は、保存や復元はできません。クーポン設定を他のプリンターにコピーしたい場合は、[▶ 69 ページ「クーポン設定を他のコンピューターにコピーしたい」](#)を参照してください。

プリンターに設定されたデータをバックアップしたり、設定をプリンターに復元したりします。

プリンターの設定をファイルに保存する

- 1 [設定の保存と復元] をクリックします。
- 2 [オプション] の中から、保存するデータをチェックします。

設定の保存と復元

保存

オプション

登録済みロゴデータ

プリンターの設定値

保存

復元

ファイル名:

参照

説明

復元

自動復元の設定

新しいプリンターに置き換わったときに、復元を自動で実行する

自動復元を実行する前に確認メッセージを表示する

実行結果を表示する

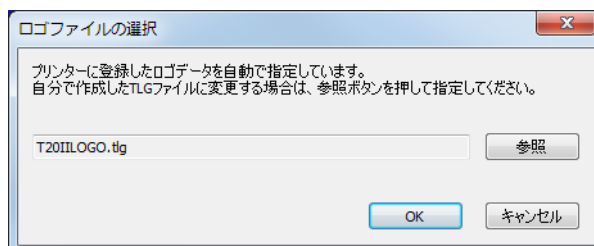
項目	説明
登録済みロゴデータ	プリンターに登録したロゴデータを保存します。ここでは、プリンターからデータを取得するのではなく、ロゴ登録ファイル(TLG ファイル)のデータを保存します。 ▶ 30 ページ「ロゴ登録ファイルについて」 を参照してください。
プリンターの設定値	プリンターの各種設定値を保存します。以下の設定値を保存します。 <ul style="list-style-type: none"> • 用紙節約の設定 • 自動用紙カットの設定 • 印刷制御の設定（用紙幅、印刷速度、濃度など） • フォントの設定（コードページ、国際文字セットの設定） • オプションブザーの設定

- 3 [保存]をクリックします。バックアップの確認メッセージが表示されるので、[はい]をクリックします。

手順2で[登録済みロゴデータ]をチェックした場合	手順4へ進んでください。
手順2で[登録済みロゴデータ]をチェックしなかった場合	手順5へ進んでください。

- 4 “ロゴファイルの選択”画面が表示されます。最後に保存したロゴファイル名が表示されます。[OK]をクリックします。

保存するファイルを変更したい場合、[参照]をクリックします。



- 5 次の画面が表示されます。ファイル名とバックアップ先を指定して保存します。

設定をプリンターに復元する

- 1 [設定の保存と復元] をクリックします。
- 2 [参照] をクリックし、復元する設定ファイルを指定します。

The screenshot shows a dialog box titled "設定の保存と復元" (Settings Save and Restore). It is divided into three main sections:

- 保存 (Save):** Contains an "オプション" (Options) section with two checked checkboxes: "登録済みロゴデータ" (Registered logo data) and "プリンターの設定値" (Printer settings). A "保存" (Save) button is located to the right.
- 復元 (Restore):** Contains a "ファイル名:" (File name) input field, a "参照" (Reference) button, and a "説明" (Description) text area. A "復元" (Restore) button is located to the right of the description area.
- 自動復元の設定 (Automatic restore settings):** Contains three unchecked checkboxes: "新しいプリンターに置き換わったときに、復元を自動で実行する" (Automatically execute restore when replaced by a new printer), "自動復元を実行する前に確認メッセージを表示する" (Display confirmation message before automatic restore), and "実行結果を表示する" (Display execution results).

- 3 [復元] をクリックします。復元の確認メッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。
- 4 復元が成功した場合、成功メッセージが表示されます。

自動復元の設定

自動復元の設定をします。

設定の保存と復元

保存

オプション

登録済みロゴデータ

プリンターの設定値

保存

復元

ファイル名:

参照

説明

この機能は、古いプリンターから新しいプリンターに置き換わったときに、以前にバックアップしていたファイルを利用して、自動的にプリンターの設定を復元します。

復元

自動復元の設定

新しいプリンターに置き換わったときに、復元を自動で実行する

自動復元を実行する前に確認メッセージを表示する

実行結果を表示する

項目	説明
新しいプリンターに置き換わったときに、復元を自動で実行する	使用していたプリンターが故障して、新しいプリンターに交換したときに、以前にバックアップしていたファイルを利用して、自動的にプリンターの設定を復元します。
自動復元を実行する前に確認メッセージを表示する	自動復元を実行する前に、設定を復元するか確認のメッセージを表示します。
実行結果を表示する	自動復元を実行した場合、成功 / 失敗の結果を画面に表示します。

クーポン印刷

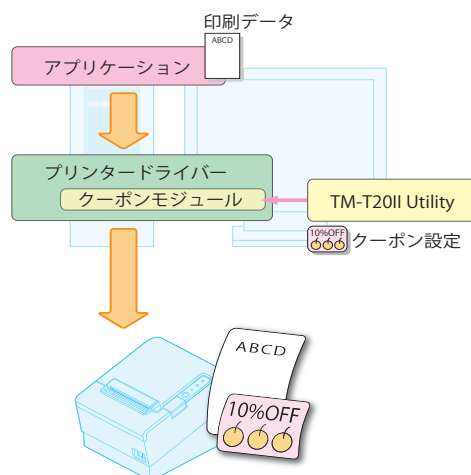
本章では、クーポン印刷の概要と、使い方を説明しています。

概要

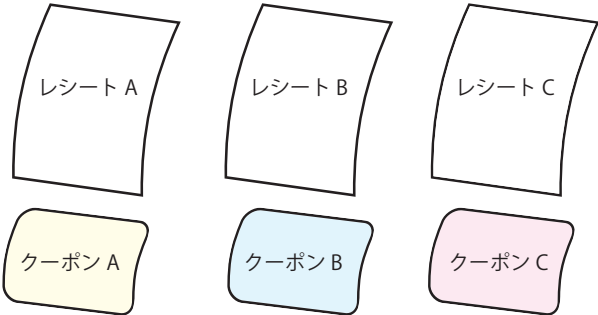
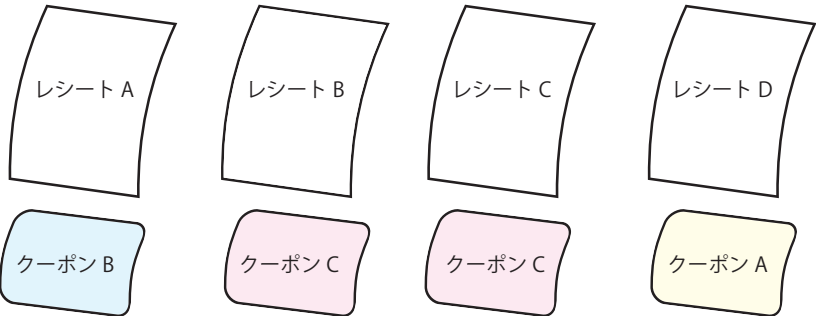
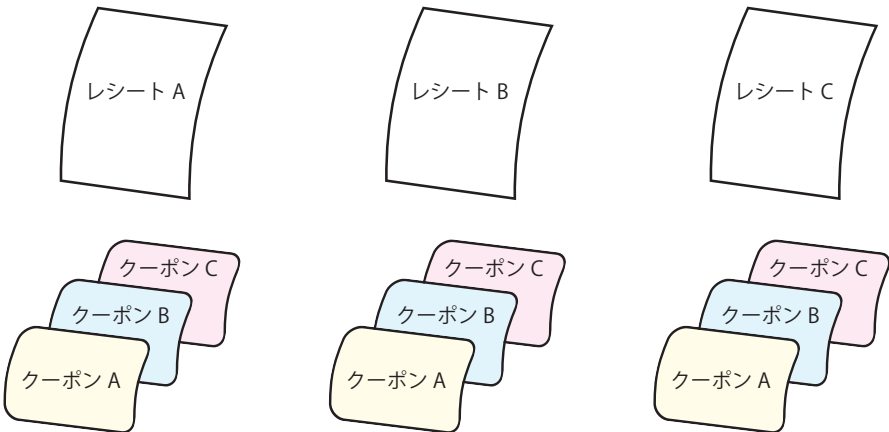
TM-T20II Utility では、クーポン印刷機能を提供しています。お客様の POS アプリケーションを変更しないでクーポン印刷ができます。TM-T20II Utility でクーポンデータを登録し、印刷の最後にクーポンを印字します。

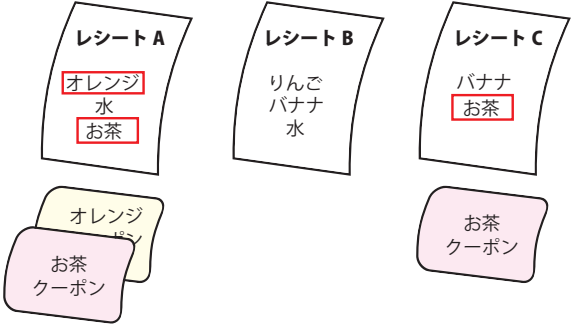
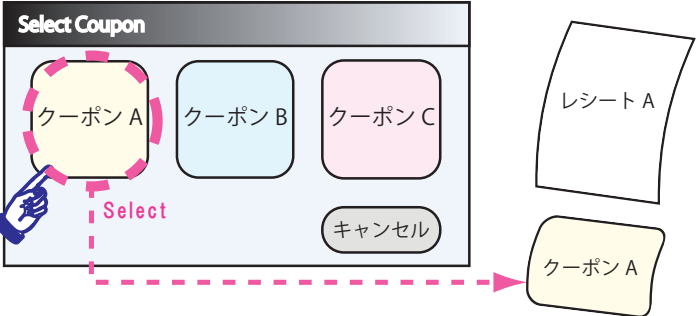
印刷の仕組み

Windows プリンタードライバーや UPOS ドライバーなどの、プリンタードライバーで印刷するアプリケーションの場合、TM-T20II Utility をインストールすると、プリンタードライバーにクーポンモジュールをアドインします。TM-T20II Utility はクーポンモジュールに、クーポン画像と印刷方法を設定します。クーポンモジュールは、印刷データの後に設定されたクーポンを印刷します。



クーポン印刷の方法

方法	説明
登録順	<p>登録した順番でクーポンを印刷します。</p> 
ランダム印刷	<p>登録したクーポンを、ランダムに印刷します。</p> 
全て印刷	<p>登録したクーポンを、すべて印刷します。</p> 

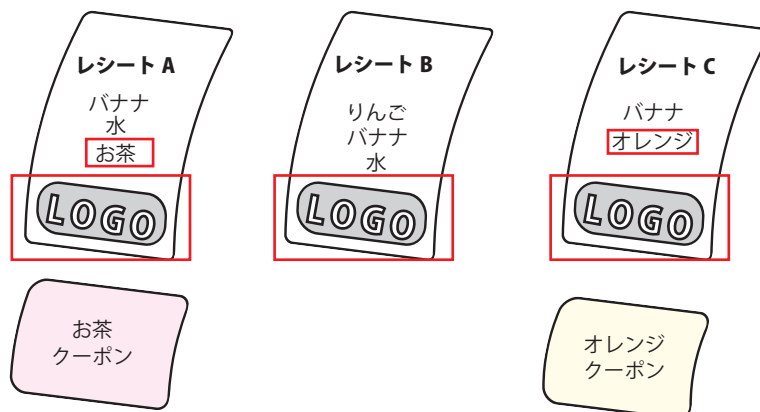
方法	説明
キーワード一致	<p>印刷データに、あらかじめクーポン画像と紐付けしたテキストデータが含まれていると、クーポンを印刷します。印刷データにテキストが含まれていないと検索 / 印刷できません。</p>  <p>キーワード: オレンジ, お茶</p>
ポップアップ選択	<p>レシート印刷時にコンピューターの画面にポップアップウィンドウが開き、オペレーターがクーポンを選択します。ポップアップ選択の場合、コンピューターの表示画面にタッチパネルを用意することをお勧めします。</p> 

参考

- キーワード検索は印刷データがデバイスフォントの場合のみ可能です。グラフィック (TrueType フォント、画像ファイルなど) は検索できません。
- Advanced Printer Driver でキーワード一致したい場合、デバイスフォントを指定してください。また、アプリケーションによっては特殊な文字が含まれたキーワードでは一致しない場合があります。

オートカット時のロゴ印刷

印刷データにクーポン画像をロゴ印刷して、クーポンにはロゴ印刷をしません。
ロゴファイルにキーワードを指定することで以下のように印刷することができます。



この例では、LOGO ファイルのキーワードに“BottomLogo”を設定しています。

以下のように設定してください。

1. 自動用紙カットの設定で [用紙カット時にロゴを印刷しない] に設定する。
2. ロゴ用のクーポン画像のキーワードに以下の設定をします。設定方法は、[▶ 55 ページ「クーポンの登録」](#)を参照してください。

キーワード	説明
TopLogo	印刷データの前にロゴを印刷します。
BottomLogo	印刷データの後にロゴを印刷します。

3. クーポンの印刷方法を指定します。
クーポン印刷は、どの方法と組み合わせても設定できます。

参考

キーワードに“TopLogo”を設定した場合、[用紙節約の設定]の“上余白の削減”は設定できません。
[▶ 31 ページ「用紙節約の設定」](#)を参照してください。

クーポンデータ形式

- 画像ファイル (BMP, JPEG, PNG, GIF)
印刷されるサイズは、高さ 2047 ピクセルまでです。

環境

プリンタードライバー

- Advanced Printer Driver Ver.5
- OPOS ADK Ver.2.70 R3 以降
- OPOS ADK for .NET Ver.1.12.2 以降

対応アプリケーション

- 上記のドライバーで印刷するアプリケーション

インターフェイス

- Bluetooth®
- USB
- イーサネット
- シリアル
- パラレル

注意

シリアルの場合、通信速度を 38400 bps 以上に変更してください。

セットアップ

クーポン機能を使用するには、クーポンに対応したプリンタードライバーおよび TM-T20II Utility が必要です。プリンタードライバーを利用している場合、クーポン機能に対応している最新のドライバーにアップデートしてください。

詳細は各ドライバーのマニュアル、および本書の [▶ 9 ページ「インストール」](#) を参照してください。

設定

TM-T20II Utility でクーポンデータを登録し、TM-T20II で印刷します。

注意

- あらかじめ、クーポンの画像を準備してください。
- バーコード /2 次元シンボルをクーポンに印字する場合
 - * バーコード /2 次元シンボル画像は黒色にしてください。
 - * クーポン画像のサイズを、縮小しなくても良いサイズにしてください。
 - * バーコード /2 次元シンボルの読み取りテストをしてください。
- クーポンは 100 個まで登録できます。

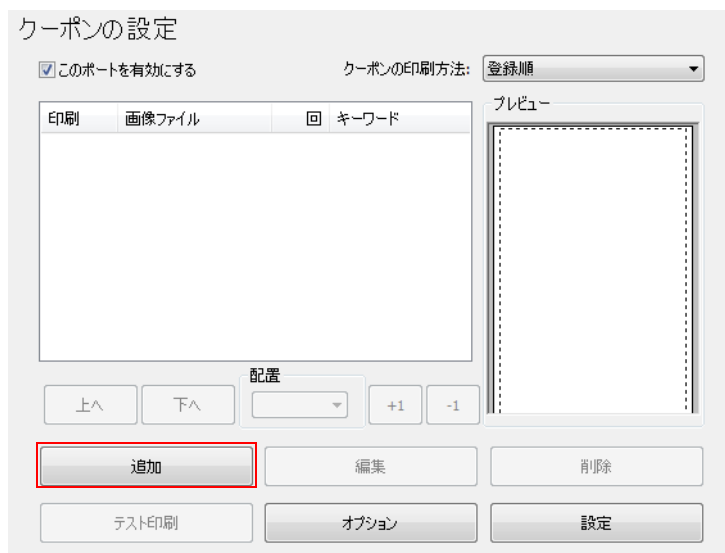
[クーポンの設定]には、以下の機能があります。

項目	説明
このポートを有効にする	チェックされていると、クーポン印刷機能を有効にします。
追加	クーポンデータを追加します。
編集	選択したクーポンデータの、サイズや画質を編集します。
削除	選択したクーポンデータをリストから削除します。
テスト印刷	選択したクーポンを印刷します。
オプション	クーポンの印刷設定をします。
設定	クーポンデータを、クーポンモジュールに登録します。
クーポンの印刷方法	クーポンの印刷方法を設定します。
上へ / 下へ	登録順で印刷するときの順番を指定します。
配置	クーポンの印刷レイアウトを指定します。
+1/-1	印刷頻度を指定します。回数の多いほうが、多く印刷されます。

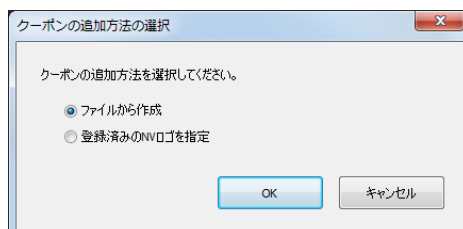
クーポンの登録

ここでは登録するクーポンデータを設定します。

1 「追加」をクリックします。



2 “クーポンの追加方法の選択”画面が表示されます。クーポンの追加方法を指定し、[OK]をクリックします。



クーポンの追加には、以下の方法があります。

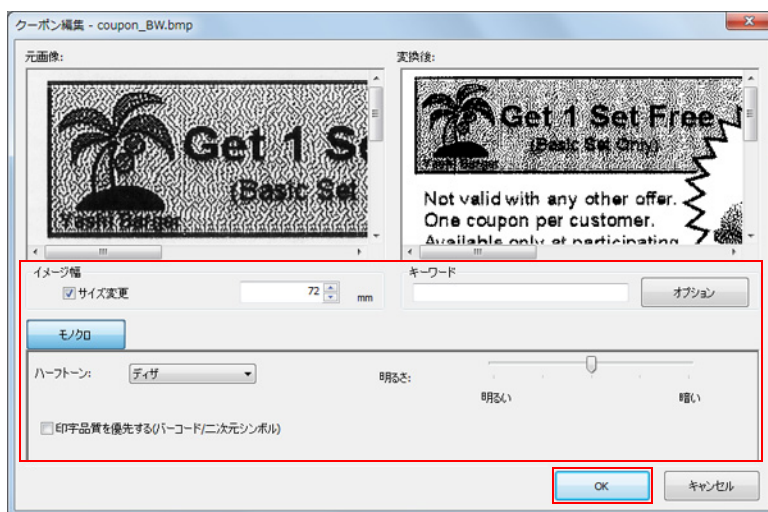
クーポンの追加方法	説明
ファイルから作成（推奨）	画像ファイルを指定してクーポンデータを作成し、追加します。手順3に進んでください。
登録済みの NV ロゴを指定	プリンターに登録された NV ロゴのキーコードを指定し、追加します。手順5に進んでください。シリアルインターフェイスで通信が遅い場合に、あらかじめ画像を登録しておきます。NV メモリーには容量の制限があります。

3 クーポンに登録するイメージデータを指定します。

参考

- 指定可能なファイルサイズは、高さ 2047 x 幅 576 ピクセル（ドット）以下の bmp、jpeg、gif、png ファイルです。
- プリンターの用紙幅の設定により、最大の用紙幅のピクセル数が変わります。
- クーポンの幅が用紙幅を超える場合は用紙幅に収まるようにリサイズされます。

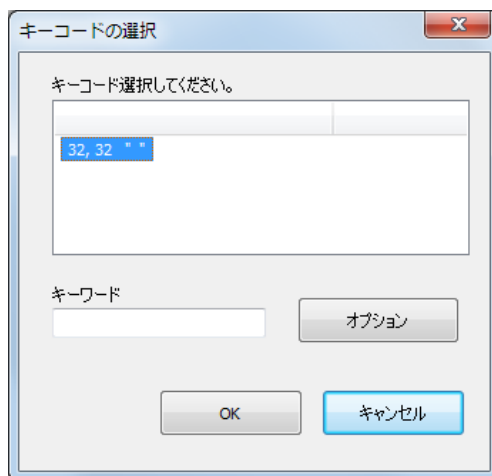
- 4 “クーポン編集”画面が表示されます。画面上部のプレビューを参照して、イメージデータを編集します。編集が終了したら、[OK] をクリックします。手順6に進みます。



以下を設定します。

項目	説明
イメージ幅	リサイズ後の画像サイズを設定します。(設定値は mm です。)
サイズ変更	サイズの変更の有 / 無を設定します。 チェックしない場合、画像のサイズで印刷されます。画像が大きい場合、用紙幅を超える部分は印刷されません。
キーワード	クーポン画像にキーワードを設定します。 [クーポンの印刷方法]を[キーワード一致]にした場合、印刷データに、ここで設定したキーワードが含まれている時にクーポンを印刷します。
オプション	キーワード一致の条件に、[大文字小文字を区別する]/[単語の検索]を設定します。検索の詳細は、▶59 ページ「キーワード一致」を参照してください。
ハーフトーン	ハーフトーンの種類を、[ディザ]/[誤差拡散]/[なし]から選択します。
明るさ	明るさを設定します。
印字品質を優先する (バーコード/二次元 シンボル)	バーコード / 2 次元シンボルが含まれるクーポン画像にチェックします。この設定をしたクーポン画像を印字するときは、印字速度が遅くなります。

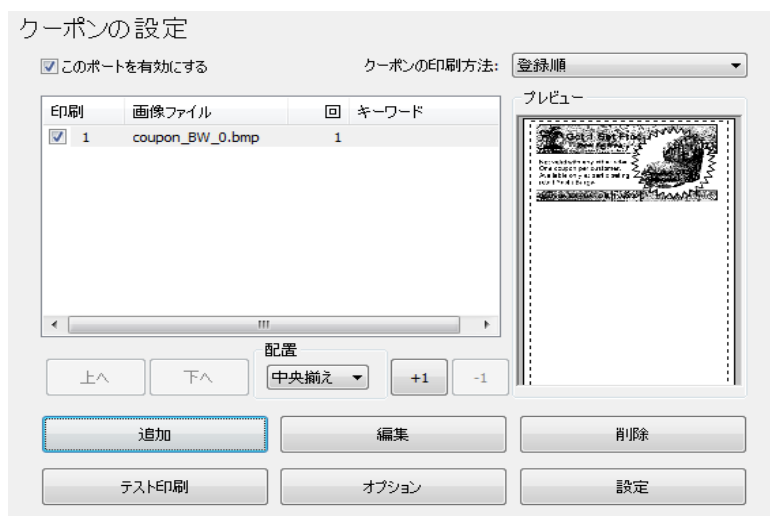
- 5 “キーコードの選択”画面が表示されます。クーポンデータにするNVロゴを選択し、[OK]をクリックします。手順6に進みます。



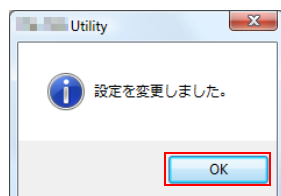
以下を設定します。

項目	説明
キーコード	クーポンデータにするNVロゴのキーコードを選択します。
キーワード	NVロゴにキーワードを設定します。 [クーポンの印刷方法]を[キーワード一致]にした場合、印刷データのテキストに、ここで設定したキーワードが含まれていたときにクーポンを印刷します。 ロゴとして印刷する場合は、以下のキーワードを設定します。 最初に印刷：TopLogo 最後に印刷：BottomLogo この設定をしたデータは、レシートの前か後にロゴが印刷されます。クーポンの前後には印刷されません。
オプション	キーワード一致の条件に、[大文字小文字を区別する]/[単語の検索]を設定します。

- 6 リストにクーポンデータが追加されます。
リスト左側のチェックを外すと、そのクーポンは印刷されません。登録したクーポンを選択すると、プレビューエリアで内容を確認できます。



- 7 [配置]で、印刷レイアウトを指定します。
- 8 複数のクーポンデータを登録する場合、手順 1～5 を繰り返します。
- 9 [設定]をクリックすると、クーポンがクーポンモジュールに登録されます。
- 10 登録が完了したら、[OK] をクリックします。



参考

TM-T2011 Utility でクーポンデータを登録すると、クーポンモジュールが登録したクーポンデータをコンピューターに保存します。保存先は以下を参照してください。

- * Windows 10/Windows 8.1/Windows 8
C:¥ProgramData¥epson¥TMT2011UtI¥
- * Windows 7/Windows Vista
C:¥ProgramData¥EPSON¥TMT2011UtI¥
- * Windows XP/Windows 2000
C:¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥EPSON¥TMT2011UtI¥

クーポンの印刷方法の設定

[クーポンの印刷方法]で、クーポンを印刷する方法を選択します。

クーポンの設定

このポートを有効にする

クーポンの印刷方法: 登録順

印刷	画像ファイル	回	キーワード
<input checked="" type="checkbox"/> 1	coupon_Lucky.bmp	1	
<input checked="" type="checkbox"/> 2	coupon_BW_0.bmp	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 3	delicious_BW_0.bmp	1	

プレビュー

配置

上へ 下へ 中央揃え +1 -1

追加 編集 削除

テスト印刷 オプション 設定

クーポンの印刷方法は以下のとおりです。▶ [50 ページ「クーポン印刷の方法」](#)を参照してください。

項目	説明
登録順	リストの順番にクーポンを印刷します。
ランダム	登録したクーポンを、ランダムに印刷します。
全て印刷	登録したクーポンを、すべて印刷します。
キーワード一致	印刷データに、あらかじめクーポン画像と紐付けしたテキストデータが含まれていると、クーポンを印刷します。印刷データにテキストが含まれていない場合、検索 / 印刷できません。
ポップアップ選択	レシート印刷時にコンピューターの画面にポップアップウィンドウが開き、オペレーターがクーポンを選択します。

キーワード一致

キーワード一致では、クーポンデータごとに印刷するキーワードを設定し、印刷データのテキストにキーワードが含まれると、クーポンを印刷します。オプション設定で、検索条件を設定したり、印刷しないキーワードを登録したりできます。▶ [60 ページ「オプション設定」](#)を参照してください。

印刷しないキーワード

ここで設定したキーワードが印刷データに含まれる場合は、他のクーポンで設定したキーワードが含まれていてもクーポンを印刷しません。

[クーポンの設定]-[オプション]で設定できます。▶ [61 ページ「クーポン印刷の設定」](#)を参照してください。

オプション設定

キーワード検索に以下の条件を付加できます。

項目	説明
大文字小文字を区別する	設定したキーワードを大文字 / 小文字を区別して検索します。 アルファベットの場合に有効な設定です。
単語の検索	設定したキーワードを単語で検索します。

キーワードの検索判断方法

以下は、オプション設定の設定をすべて有効にした場合の結果です。

キーワード	印字データ	検索結果	備考
りんご	りんご	○	-
	りんご あめ	○	-
	りんごあめ	×	[単語の検索]の設定を外した場合、検索されます。
Apple	Apple	○	-
	apple	×	[大文字小文字を区別する]の設定を外した場合、検索されます。
	AppleCandy	×	[単語の検索]の設定を外した場合、検索されます。
	appleCandy	×	オプション設定をすべて外した場合、検索されます。
	Apple Candy	○	-

設定の応用

100枚に1枚の割合で、当たりのクーポンを発行

- 1 当たりのクーポンと当たりでないクーポンを用意します。
- 2 クーポンの印刷方法から[ランダム]を選択し、当たりクーポンの回数を1に設定します。
- 3 当たりでないクーポンの回数を99に設定します。

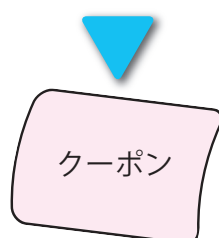
購入合計金額が\$100から\$999の場合クーポンを発行

- 1 クーポンの印刷方法を[キーワード一致]を選択し、クーポンのキーワードを`Total_ _\$(アンダーラインはスペース)、で設定します。
キーワード設定の[単語検索を有効にする]のチェックを外します。

1行の印字桁数が15文字固定の場合

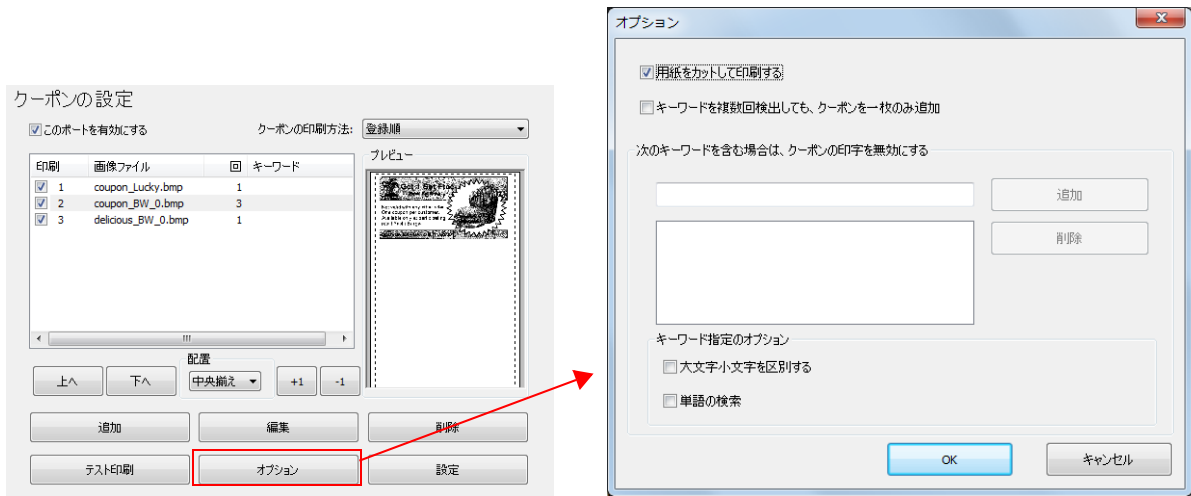
キーワード: Total: _ _ \$

印字結果: Total: _ _ \$100.00



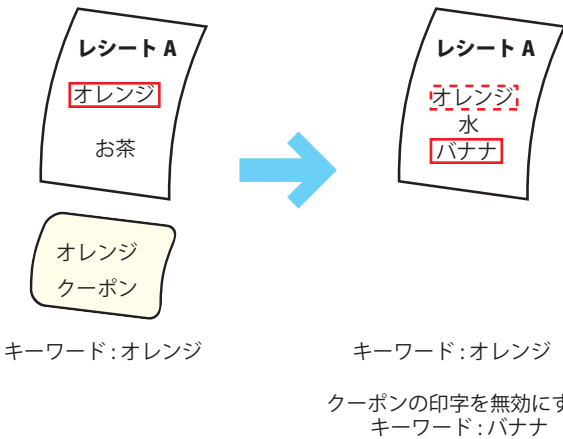
クーポン印刷の設定

[オプション]で、クーポン印刷の設定をします。



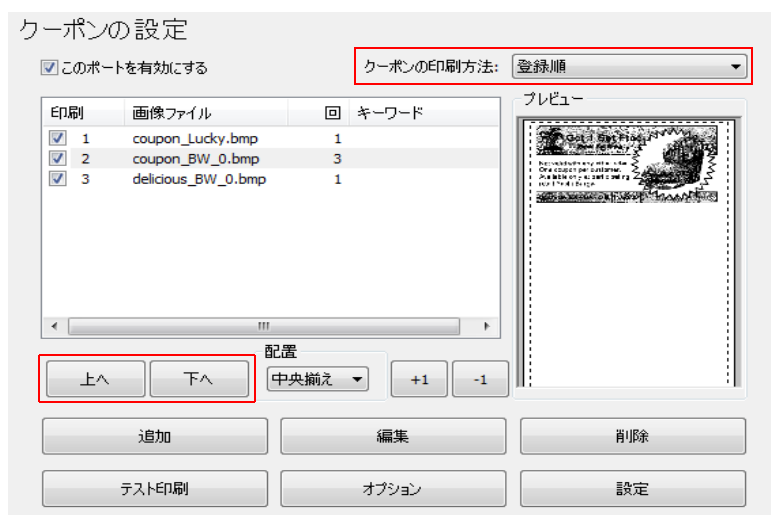
以下を設定します。

項目	説明
用紙をカットして印刷する	チェックすると、クーポンを印刷するごとにオートカットします。
キーワードを複数回検出しても、クーポンを一枚のみ追加	<p>チェックすると、印刷データにクーポンデータに紐付けしたキーワードが複数回検出されても、該当のクーポンは1枚のみ印刷されます。チェックされていない場合、該当のクーポンを、キーワードの検出回数の枚数印刷します。</p> <p>この設定は、[クーポンの印刷方法]が“キーワード一致”の場合のみ有効な設定です。</p> <div style="text-align: center;"> <p>キーワード:バナナ</p> </div>

項目	説明
次のキーワードを含む場合は、クーポンの印字を無効にする	<p>クーポン印刷を無効にするキーワードを設定します。</p> <p>印刷データのテキストに、この設定で設定したキーワードが含まれていた場合、キーワードで一致したクーポンがあったとしてもクーポンは印刷されません。キーワードは 100 個設定できます。</p>  <p>キーワード: オレンジ</p> <p>キーワード: オレンジ</p> <p>クーポンの印字を無効にする キーワード: バナナ</p>
キーワード指定のオプション	<p>[次のキーワードを含む場合は、クーポンの印字を無効にする] 設定のキーワード一致の条件に、[大文字小文字を区別する] / [単語の検索] を設定します。検索の詳細は、➡ 59 ページ「キーワード一致」を参照してください。</p>

印刷順番の指定

[クーポンの印刷方法] が「登録順」の場合、リストの番号順に印刷します。



クーポンを選択して、[上へ]/[下へ]をクリックすると、順番を入れ替えることができます。

印刷頻度の指定

[クーポンの印刷方法]が“登録順”または“ランダム”の場合、クーポンを印刷する頻度を指定します。

クーポンの設定

このポートを有効にする

クーポンの印刷方法: 登録順

印刷	画像ファイル	回	キーワード
<input checked="" type="checkbox"/> 1	coupon_Lucky.bmp	1	
<input checked="" type="checkbox"/> 2	coupon_BW_0.bmp	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 3	delicious_BW_0.bmp	1	

プレビュー

配置

上へ 下へ 中央揃え +1 -1

追加 編集 削除

テスト印刷 オプション 設定

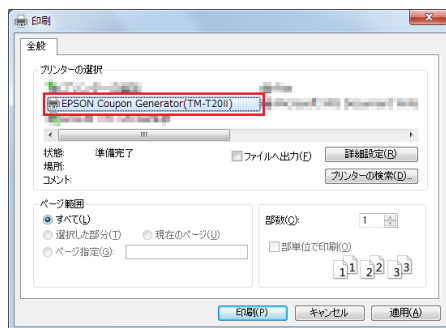
クーポンを選択して、「+1」/「-1」をクリックすると、回数が増減します。

- [クーポンの印刷方法]が“登録順”の場合：指定された回数、同じクーポンを続けて印刷します。
たとえばNo.2のクーポンの回数が3で他のクーポンの回数が1の場合、No.1 → No.2 → No.2 → No.2 → No.3の順番で印刷します。
- [クーポンの印刷方法]が“ランダム”の場合：印刷頻度を加味してランダムに印刷します。
たとえばNo.2のクーポンの回数が3で他のクーポンの回数が1の場合、No.2は他のクーポンよりも3倍多く印刷します。

Coupon Generatorでクーポンを登録

TM-T20II Utility をインストールすると、Coupon Generator をインストールすることができます。Coupon Generator を使用すると、画像編集ソフトで作成したクーポンを直接登録できます。以下の手順で作成します。

- 1 コンピューターに TM-T20II Utility がインストールされていることを確認します。TM-T20II Utility が起動している場合、終了します。
- 2 画像編集ソフトを使って、クーポンデータを作成します。
- 3 画像編集ソフトからクーポンデータを印刷します。印刷ダイアログの“EPSON Coupon Generator(TM-T20II)” を選択し、[印刷] をクリックします。



参考

この時、TM-T20II Utility が起動していないことを確認してください。

- 4 TM-T20II Utility が起動し、画像編集ソフトで作成したクーポンが表示されます。[設定] をクリックし、クーポンをプリンターモジュールに登録します。



- 5 登録が完了したら、「OK」をクリックします。

クーポンの印刷

ポップアップ選択で印刷する場合

[クーポンの印刷方法]を「ポップアップ選択」に設定した場合、アプリケーションから印刷すると、クーポン選択画面が表示されます。画面からクーポンを選択すると、データ印刷の最後に、クーポンが印字されます。

クーポンを印刷しない場合は、[キャンセル]をクリックします。

オプション画面で[クーポンが選択されなかったら自動的に画面を閉じる]をチェックすると、ポップアップ画面が表示された後、指定した時間が経過すると画面が閉じてデータが印刷がされます。クーポンは印刷されません。

▶ 66 ページ「ポップアップ選択の設定」を参照してください。

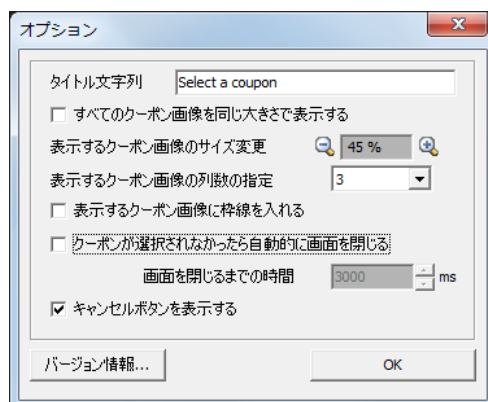


参考

ポップアップ画面で表示できるクーポン画像は、100枚までです。

ポップアップ選択の設定

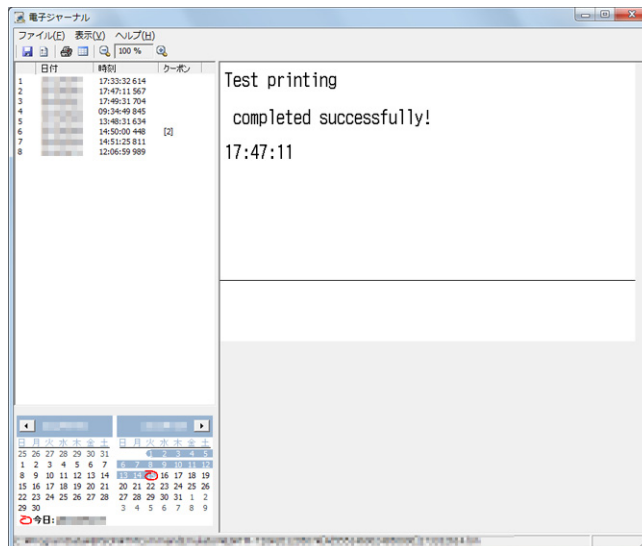
[クーポンの印刷方法]を、“ポップアップ選択”に設定すると、タスクトレイに「クーポンの選択」のアイコンが追加されます。そのアイコンを右クリックし、[オプション]を選択すると“ポップアップ選択”の設定ができます。



項目	説明
タイトル文字列	クーポン選択画面のタイトル文字列を指定します。
すべてのクーポン画像を同じ大きさで表示する	チェックすると、表示されるすべてのクーポンを、同じサイズで表示します。
表示するクーポン画像のサイズ変更	[-]/[+]で、クーポン選択画面に表示される、クーポン画像の縮尺を指定します。
表示するクーポン画像の列数の指定	クーポン選択画面に表示される、クーポン画像の列数を指定します。
表示するクーポン画像に枠線を入れる	チェックすると、選択するクーポン画像の淵に枠線が表示されます。
クーポンが選択されなかったら自動的に画面を閉じる	チェックすると、クーポン選択画面でクーポン画像を選択しなかった場合、自動的にクーポン選択画面が閉じます。
画面を閉じるまでの時間	自動的にクーポン選択画面が閉じるまでの時間(100～30000 ms)を指定します。[クーポンが選択されなかったら自動的に画面を閉じる]がチェックされている場合に設定できます。
キャンセルボタンを表示する	チェックすると、クーポン選択画面に[キャンセル]が表示されます。
バージョン情報	オプションのバージョン情報が表示されます。

印刷結果の確認

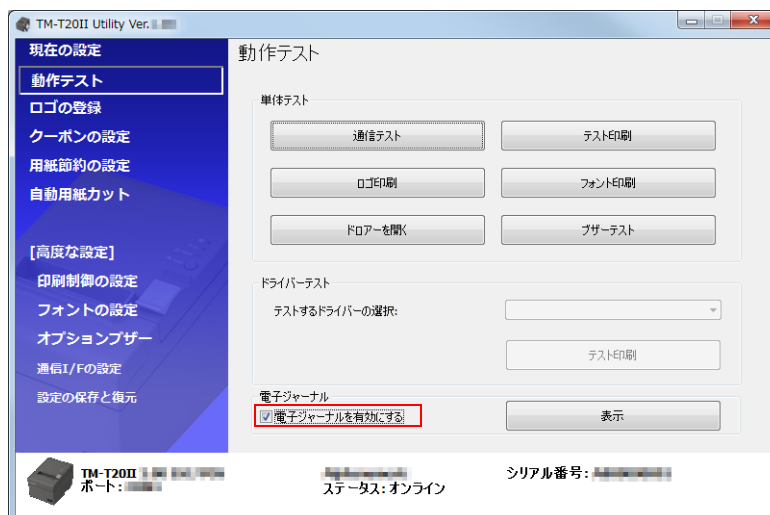
クーポンの印刷結果は、TM-T20II Utility の電子ジャーナルで確認できます。
電子ジャーナルは、[動作テスト]-[電子ジャーナル]-[表示] で表示されます。



設定

電子ジャーナルは、以下の設定で有効になります。

[動作テスト]-[電子ジャーナル]-[電子ジャーナルを有効にする] をチェックします。



FAQ

印刷できない

TM-T20II Utility を終了してください。TM-T20II Utility が起動していると印刷できません。

クーポンを印刷できない

以下の設定を確認してください。

- 設定したクーポン画像のリスト
チェックされていない場合、チェックしてから再度設定してください。
- [このポートを有効にする]
チェックされていない場合、チェックしてから再度設定してください。

設定したキーワードでクーポンが印刷できない

以下の設定を確認してください。

- キーワード設定以外で印刷できるか確認してください。
- キーワードの設定をもう一度確認してください。
- Advanced Printer Driver Ver.5 を使用しているアプリケーションの場合、以下を確認してください。
 - フォントをデバイスフォントにして、指定されたサイズに変更します。
 - アプリケーションでデバイスフォントを指定できない場合、Advanced Printer Driver Ver.5の高度の設定で、フォント置き換えをします。
以下の手順で設定します。
 1. APD5 Utility の、[フォントの置き換え]-[TrueType フォントの置き換え]を選択します。
 - 2.[置き換える TrueType Font] に、アプリケーションで使用しているフォントを指定します。
 - 3.[デバイスフォント] に、デバイスフォントを選択します。デバイスフォントを選択すると、フォントサイズにポイントが指定されます。アプリケーションで印刷するサイズに近いサイズのデバイスフォントを選択してください。
 4. 実際に印刷して、キーワード検索できるかどうかを確認してください。アプリケーションで印刷するサイズとデバイスフォントのサイズが違っていると、印刷できないことがあります。

クーポン設定を他のコンピューターにコピーしたい

以下の手順で他のコンピューターにコピーしてください。

- 1 プリンタードライバーをインストールして設定します。
- 2 コピー元のコンピューターのクーポンデータおよび設定ファイルを、コピーします。
クーポンデータおよび設定ファイルの保存先
Windows 10/Windows 8.1/Windows 8
C:\ProgramData\Epson\TMT2011\Ut\
(Windows 8.1 および Windows 8 では、Program フォルダは隠しフォルダになっています。)
Windows 7/Windows Vista
C:\ProgramData\Epson\TMT2011\Ut\
Windows XP/Windows 2000
C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\Epson\TMT2011\Ut\
3 コピー先のコンピューターに、クーポンデータおよび設定ファイルを保存します。
コピー元のコンピューターと同じ位置に、クーポンデータおよび設定ファイルを保存してください。

UPOS ドライバーで、クーポン画像をカットしてしまう

お客様のアプリケーションの設定を、以下のようにしてください。

- UPOS ドライバーの用紙カットの方法： エスケープシーケンスの “Feed and Paper cut”

Acknowledgements

"TM-T2011 Utility" incorporate compression code from the Info-ZIP group.

This is version 2009-Jan-02 of the Info-ZIP license. The definitive version of this document should be available at <ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html> indefinitely and a copy at <http://www.info-zip.org/pub/infozip/license.html>.

Copyright (c) 1990-2009 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals: Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

1. Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
2. Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. Additional documentation is not needed for executables where a command line license option provides these and a note regarding this option is in the executable's startup banner. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
3. Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.
4. Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.